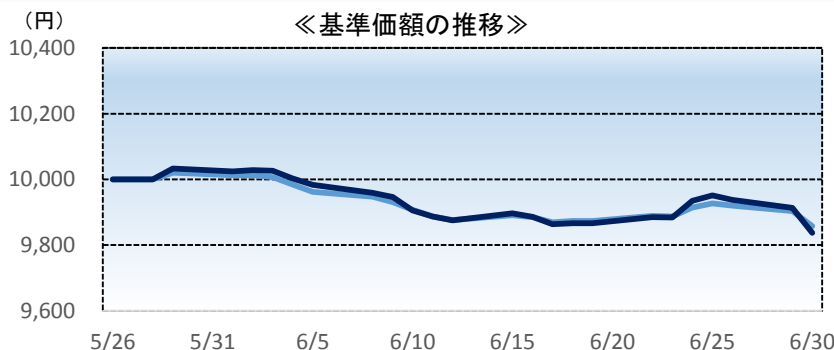


足元の運用状況と今後の見通しについて

当ファンドの足元の運用状況について（2015/5/26～2015/6/30）



2015年6月30日現在		
	騰落率	
	安定型	成長型
1ヶ月	▲1.6%	▲2.0%
設定来	▲1.4%	▲1.6%

— 安定型
— 成長型

設定来の基準価額は安定型▲1.4%、成長型▲1.6%となり、軟調な推移となっております。ギリシャ債務問題を背景にリスク資産から資金が流出し、国内外の株式市場が大きく下落したことやリスク回避の動きから為替が円高へと転じたことが、パフォーマンス低下の一因となりました。また、市場のトレンドを捉えて収益を獲得するタイプのヘッジファンドのパフォーマンスが、市場急変を受けて短期的に悪化したことなども影響しました。

なお、当ファンドは、ファンドスキーム上の関係で、組入ファンドの前日評価額を用いて評価しており、そのため、各資産の市場の動きがファンドに反映されるのに1～2日程度遅れます。そのため、基準価額の動きと市場の動きとは差異が生じますのでご注意ください。

今後の見通しについて

ギリシャの債務問題を巡って、先行き不透明感が高まっており、株式や債券など多くの資産の価格が軟調な展開となっております。今後も、ギリシャ債務問題に市場が振り回される展開が予想されますが、ギリシャの経済規模は小さく、欧州の重債務国に対する支援体制も整備されていることから、その影響はそれほど大きくないものと考えております。さらに、主要国の中央銀行が緩和的な金融政策をおこなっていることから、以前の金融危機時のような状況に陥る可能性も低く、事態は収束に向かうものと見ております。今後、市場の関心は米国の景気回復および利上げへと移っていくと考えておりますが、これらについて市場は織り込みつつあり、予想外のイベントが発生しない限り、ファンドは安定的なリターンを確保することができるものと考えております。

当ファンドは、中長期的に安定した収益の獲得を目指すファンドであることから、引き続き、長期的視点に基づいた資産配分に則って投資を行ってまいります。

ファンド・トピック ～ヘッジファンドと世界株式～



左図はヘッジファンド指数（※1）と世界株式指数（※2）の直近1年間の月次リターンを示したものです。ヘッジファンド指数と比べると、世界株式の方がリターンの“ブレ”が大きく、リスクが大きいことが見て分かります。世界株式指数のプラス幅と比較するとヘッジファンド指数のプラス幅はおおむね小さくなっており、収益性では世界株式に見劣りする反面、マイナス幅については、ヘッジファンド指数の方が小さくなっており、株式市場が下落するような局面でもヘッジファンドの下落幅は抑制され、下値に対する耐性を見ることができます。

※1: HFRI Fund Weighted Composite Index(USD)
※2: MSCI AC World Index(USD)
出所: Bloomberg

ファンドの投資リスク

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。**

株価変動リスク、金利変動リスク、リートの価格変動リスク、MLPの価格変動リスク、商品（コモディティ）の価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カンタリリスク、資産等の選定・配分に係るリスク、ヘッジファンドの運用手法に係るリスク、仕組み債券に係るリスク、ブローカーの信用リスク

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

▼その他の留意点

- ・ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
- ・ ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申し込みメモ

信託期間	無期限（2015年5月26日設定）
決算日	毎年7月10日（休業日の場合は翌営業日）です。ただし、初回決算日は2016年7月11日です。
収益分配	年1回の決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配をおこなわないことがあります。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益等の全額とします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。（基準価額は1万口当たりで表示しています。）
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
購入・換金 申込受付不可日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申し込みを受け付けないものとします。 （休業日については、委託会社または販売会社にお問い合わせください。） ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

ファンドの費用

▼お客さまが直接的にご負担いただく費用

【購入時】 購入時手数料	購入価額に 3.24%（税抜3.0%）を上限 として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
【換金時】 信託財産留保額	ありません。

▼お客さまが間接的にご負担いただく費用

【保有期間中】 実質的な運用管理費用（信託報酬）	純資産総額に対して 年率1.55333%～1.84156%程度（税抜1.43827%～1.72092%程度） 当ファンドは他のファンドを投資対象としています。したがって、当ファンドの運用管理費用 年率1.3608%（税抜1.26%） に当ファンドの投資対象ファンドの運用管理費用 年率0.19253%～0.48076%程度（税抜0.17827%～0.46092%程度） を加えた、お客さまが実質的に負担する運用管理費用を算出しています。ただし、この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入状況により変動します。
【保有期間中】 その他の費用・手数料	監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約に伴う信託財産留保額等をその都度（監査費用は日々）、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社 スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図]
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第2831号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社） [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社 株式会社横浜銀行 [募集・販売の取り扱い、目論見書・運用報告書の交付等]
金融商品取引業者：関東財務局長（登金）第36号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

＜ご留意事項＞ ◆ 当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆ ご購入のお申し込みの際は最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。◆ 投資信託は値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクを伴います）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。◆ 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外で購入された場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。◆ 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。◆ 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。◆ 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数開発元もしくは公表元に帰属します。